

PCB・重金属による魚類の汚染調査(第V報)

衛生化学室 金城喜榮

山城興博

上原 隆

緒言

前報¹⁾に引き続き、昭和54年度に米軍基地牧港補給地区(MSA)の海域から採取された魚介類9種類と対照として大浦湾から採取された魚類8種の調査分析結果を報告する。

分析方法

環境庁企画調整局環境保健部保健調査室編『生物汚染「昭和50年度有害物質による環境汚染(生物汚染)調査の分析方法」』による。

結果及び考察

調査結果は表I、IIのとおりである。
各項目とも前回までの調査結果と^{1), 2), 3), 4)}ほぼ同様の値であり、汚染は進んでないと思われる
なお、有機リン系農薬はほとんど検出されないので調査項目から除外した。

文献

- 1) 金城喜榮、山城興博、上原隆：PCB・重金属による魚類の汚染調査、(第IV報) 沖縄県公害衛生研究所報、第12号(1978年)。
- 2) 金城喜榮、山城興博、上原隆：PCB・重金属類による魚類の汚染調査、同上、第10号(1976年)。
- 3) 金城喜榮、山城興博、上原隆：PCB・重金属による魚類の汚染調査(第II報)、同上、第11号(1977年)。
- 4) 金城喜榮、山城興博、上原隆：PCB・重金属による魚類の汚染調査(第III報)、同上、第11号(1977年)。

表1 PCB・重金属類の調査結果

単位：ppm

No.	検体名	採取年月日	採取場所	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	PCB	有機塩素農薬	備考
1	クアアガナ	53. 7. 5	MSA海域	0.05	0.01	0.05	0.80	2	別紙	
2	アイゴ	〃	〃	<0.01	0.01	0.06	<0.2	0.2	〃	
3	フエフキダイ	〃	〃	<0.01	0.01	0.06	0.56	0.88	〃	
4	ゴマアイゴ	〃	〃	<0.01	0.01	<0.05	<0.22	0.06	〃	
5	アマイユ	〃	〃	0.02	<0.01	<0.05	0.32	0.2	〃	
6	ボラ	〃	〃	<0.01	<0.01	<0.05	0.82	0.4	〃	
7	ハリセンボン	〃	〃	<0.01	<0.01	<0.05	<0.22	0.2	〃	
8	ヒラメ	〃	〃	<0.01	<0.01	0.10	0.44	2	〃	
9	ワタリガニ	〃	〃	<0.01	0.03	0.06	0.67	0.1	〃	
10	クロハギ	54. 2. 1	大浦湾	<0.01	0.01	<0.05	0.22	<0.01	〃	対照として
11	ブダイ	〃	〃	<0.01	0.01	<0.05	<0.2	—	〃	〃
12	フエフキダイ	〃	〃	0.02	<0.01	0.07	4.1	<0.01	〃	〃
13	アイゴ	〃	〃	<0.01	<0.01	<0.05	1.5	<0.01	〃	〃
14	ヒメジ	〃	〃	0.01	<0.01	<0.05	0.08	<0.01	〃	〃
15	ニセカンランハギ	〃	〃	<0.01	<0.01	<0.05	0.66	<0.01	〃	〃
16	アカイユ	〃	〃	0.01	<0.01	<0.05	0.2	<0.01	〃	〃
17	クロメジナ	〃	〃	0.01	<0.01	<0.05	0.3	0.01	〃	〃

表2 有機塩素系農薬の調査結果

単位：ppm

No.	検体名	T-BHC	T-DDT	ペブタクロール エポキサイド	アルドリン	ディルドリン	備考
1	クファガナ	不検出	0.025	不検出	不検出	不検出	
2	アイゴ	〃	0.008	〃	〃	〃	
3	フェフキダイ	〃	0.014	〃	〃	〃	
4	ゴマアイゴ	〃	0.017	〃	〃	〃	
5	アマイユ	〃	0.018	〃	〃	〃	
6	ボウ	〃	0.031	〃	〃	〃	
7	ハリセンボン	〃	0.009	〃	〃	〃	
8	ヒラメ	〃	0.039	〃	〃	〃	
9	ワタリガニ	〃	0.016	〃	〃	〃	
10	クロハギ	〃	0.003	〃	〃	〃	
11	ブダイ	〃	0.001	〃	〃	〃	
12	フェフキダイ	〃	0.003	〃	〃	〃	
13	アイゴ	〃	0.004	〃	〃	〃	
14	ヒメジ	〃	0.003	〃	〃	〃	
15	ニセカンランハギ	〃	0.001	〃	〃	〃	
16	アカイユ	〃	0.003	〃	〃	〃	
17	クロメジナ	〃	0.003	〃	〃	〃	